

令和8年度
一般廃棄物処理実施計画

燕・弥彦総合事務組合
総務消防局 環境センター

令和8年度一般廃棄物処理実施計画書

一般廃棄物処理計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項の規定により、燕・弥彦総合事務組合における一般廃棄物の処理に関する計画を定めるものである。

1 ごみの排出抑制、再資源化計画

(1) 排出抑制の方法

住民・事業者への広報・啓発活動（燕市・弥彦村・組合の取り組み）

ごみの減量化の推進には、住民事業者の理解と協力が不可欠であり、意識の共有化が必要である。そのためには、住民・事業者がごみの減量化について意識を高めるよう情報提供・啓発を行うとともに、施策の透明性を高める必要がある。

①住民・事業者への積極的な情報提供

組合及び構成市村のホームページを充実させ、ごみの減量化に関する情報を発信する。

住民・事業者に対し、ごみ処理に関する情報を提供する。

②住民の意識啓発

ごみ問題に取り組むサークルや NPO の活動を支援する。

市内及び村内の各種イベントにおいて、ごみ問題や環境問題を提起する。

マイバッグ持参運動を推進しレジ袋の削減を呼びかける。

③環境学習の実施

小学校や中学校において、ごみ処理施設の見学等を行う。

組合の啓発施設を活用し、親子で参加できる環境プログラムの実施を検討する。

④事業者の意識啓発

事業者に対しごみの減量化の重要性を説明する。

ごみ減量化に積極的な事業者をホームページや広報等でその活動内容を紹介する。

⑤3Rの推進

3Rを基本としたごみ処理施策を推進する。

(2) 再資源化の方法

①資源化率の向上を図るための分別体制の構築

資源の分別収集を徹底させ、資源化率の向上を図る必要がある。住民、事業者、行政の三者の協働により達成する必要がある。

②分別に対する啓発活動の推進

資源化率を向上させるためには、不燃ごみ分別収集方法の再構築が必要である。

また、一部地域のびん類の回収方法も再検討する必要がある。構成市村は住民に対し分別に対する啓発活動を推進するとともに、自治会、事業者等と協働を図り、分別監視体制の強化を図る。

(3) 資源ごみ受入計画量及び目標再資源化率

単位：t／年

区分	紙類	金属類	ガラス類	プラスチック類	その他
資源ごみの種類	新聞 雑誌 段ボール 紙パック	粗鉄 アルミ缶 スチール缶	リターナル 瓶 ワンウェイ 瓶	ペットボトル	生ゴミ 乾電池 剪定枝 廃蛍光管
分別受入	1,543	157	56	191	19
受入後分別		236	406		
直接持込	79				
受入合計	1,622	393	462	191	3,123

資源化施設の概要

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター ストックヤード
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	資源ごみの貯留及び圧縮
公称能力	ヤード面積 647m ² 減容能力 1.5t／日

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター 粗大ごみ処理施設
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	横型回転式破砕機
公称能力	併用式 49t／5h

施設名称	燕・弥彦総合事務組合 環境センター 生ごみ堆肥化施設
設置場所	新潟県燕市吉田吉栄777番地
型式	高速好気性微生物処理
公称能力	4.5t (2.25t／日×2基)

2 中間処理計画

(1) 処理施設の概要

施設種類	施設名称	所在地	処理方式 (形式)	公称 能力 (t/ 日)	年間計画 処理量 (t/年)	稼動 日数 (日/ 年)	1日平 均 処理量 (t/日)
焼却施設	環境センター ストーカ炉	新潟県燕市吉田吉栄 777 番地	全連 (24時間稼動)	80	13,000	230	57
焼却施設	環境センター 流動床 炉	新潟県燕市吉田吉栄 777 番地	全連 (24時間稼動)	78	11,000	280	40
粗大ごみ 処理施設	環境センター 粗大ごみ 処理施設	新潟県燕市吉田吉栄 777 番地	資源化施設併 用 磁選・圧縮 横型衝撃・せん 断式	49	1,750	90	20
ストック ヤード	環境センター ストックヤ ード	新潟県燕市吉田吉栄 777 番地	圧縮・梱包・貯 留 ヤード、面積 647 m ²	1.5	210	140	2
堆肥化 施設	環境センター 生ごみ堆 肥化施設	新潟県燕市吉田吉栄 777 番地	高速好気性 微生物処理	4.5	250	200	1

(2)年間処理量計画

単位：t/年

区分			粗大ごみ処理施設		資源化施設		その他資源化処理施設（生ごみ堆肥）		焼却処理施設
				処理後焼却処理施設		処理後焼却処理施設		処理後焼却処理施設	
分別収集	可燃ごみ	家庭系							16,060
		事業系							
	粗大ごみ	家庭系	889	622					
		事業系							
	資源ごみ	家庭系			914	3	187		3
		事業系							
直接搬入	可燃ごみ	家庭系							
		事業系							7,996
	資源ごみ	家庭系							
		事業系					64		
合計	家庭系	889	622	914	3	187		16,063	
	事業系					64		7,996	

3 最終処分計画

(1) 残渣の量及び処分方法

単位：t/年

最終処分場	直接埋立	処理残渣	その他 (し尿汚泥)	合計
クリーンセンター館野	3,378	3,029	88	6,495

(1) 最終処分場の概要

区 分		(確認日：令和8年4月1日現在)
最終処分場名	燕・弥彦総合事務組合 環境センター クリーンセンター館野	
所在地	新潟県燕市館野字西109-1	
埋立地面積	71,400 m ² (既設 39,000 m ² 増設 32,400 m ²)	
埋立地容量	318,000 m ³ (既設 159,000 m ³ 増設 159,000 m ³)	
汚水処理能力	200 m ³ /日	
埋立方式	セルアンドサンドイッチ方式	
埋立開始年月日	1998年4月1日	
埋立終了予定年月日	2028年3月31日	
埋立地残存容量	53,742 m ³	

(2) 搬入される廃棄物の搬入者別の内訳量及び年間埋立量(覆土量)

区分		可燃 ごみ	不燃 ごみ	粗大 ごみ	混合 ごみ	中間処 理残渣	その他 (し尿汚泥)	合計
一般 廃棄物 t/年	直営					3,029	88	3,117
	委託		2,057					2,057
	許可							
	その他							
	直接 搬入	家庭系						
	事業系		1,321					1,321
小計(A)			3,378			3,029	88	6,495
覆土 t/年 (B)		2,541						
年間埋立量 (A)+(B)		9,036						

(3) 埋立計画

燕市・弥彦村の全域対象

埋立機械 パワーショベル 2台 ホイルローダ 1台